

令和7年度 帯広市立東小学校の研究

1 研究主題

学びに向かう力の育成

「豊かな感覚力」「深い考察力」「的確な表現力」を育む算数科の授業をめざして

2 主題設定の理由

本校では、学校教育目標に「家庭・地域と連携・協働し未来へ向かってかがやく子どもを育てる」を掲げ、めざす子ども像を「すすんで学ぶ子 やさしい子 たくましい子」として、今年度の教育活動をスタートさせた。

そして、校内研究に関しては、『学びに向かう力の育成～「豊かな感覚力」「深い考察力」「的確な表現力」を育む算数科の授業をめざして』を主題として、3年次計画のまとめの年を迎えた。

2年次目の昨年度は、研究内容②「課題に対し見通しをもち、筋道を立てて考えるための場面設定と工夫」を重点に取り組んだ。その結果、児童アンケートでは、思考に関する質問で昨年度より数値が上がり、指導や工夫の成果が見られた。単元を通して貫く学習活動やICTの活用が児童の思考の流れをつくり、主体的に考える姿につながった。一方で、伝え方に関して、相手の考えを受信することは得意でも、自分の考えを発信することは苦手と感じている児童が多かった。自分の考えを発信する手立てを増やし自信をもてるようにすること、新たな気づきにつなげるよう児童の思考をゆさぶることに課題が残った。

そこで、3年次目となる今年度では、研究内容③「交流場面で自分の考えを発信するための表現方法や手立てを増やす工夫」に重点をおき、視点や意図を明確にした交流場面を設定することで「的確な表現力」を育むことについて研究を進めていく。

アンケートから

- 数と計算
- 既習事項をつかって問題を解く
- ノートに自分の考えを書く
- 問題を解くときひらめくことがある
- △ 時刻と時間・水のかさ・長さ・図形
- △ 小数・分数・比例・反比例・割合

単元テストから見えた課題点

【低学年】

時刻と時間・長さ・計算のくふう

【中学年】

かけ算とわり算の筆算・計算のきまり
小数のかけ算とわり算・概数・面積

【高学年】

面積・変わり方調べ・比・拡大図と縮図

学びに向かう力の育成

「豊かな感覚力」「深い考察力」「的確な表現力」

← 自分で問題を解いたり、考えを書いたりするのが得意。

← 領域「B図形」と「C測定・変化と関係」が苦手。

← 実生活の中で使う算数・数学 →

標準学力調査から

- ・ 証明に関わる文章や数学的用語を用いた穴埋め問題
 - ・ 例示された説明や考察の続きを考える問題
 - ・ 基本的な四則計算の問題
- ↓
- 理論的に考え、言葉でまとめる力
- 基本的な計算力
- 【出題における共通点】

3 めざす子ども像

自分の考えをもち、表現し、共に学び合う中で、問題を多面的に捉えようとする子ども

① 豊かな感覚力

数量や図形についての感覚（既習事項、基礎的・基本的な概念や性質の理解など）を豊かにする。

② 深い考察力

見通しをもち、筋道を立てて考える力。既習の内容と結び付けたり、発展的に考えたりすることで、問題を多面的に捉えていく。

③ 的確な表現力

自分の考えを簡単に、わかりやすく伝えるための方法を的確に選択し表す。

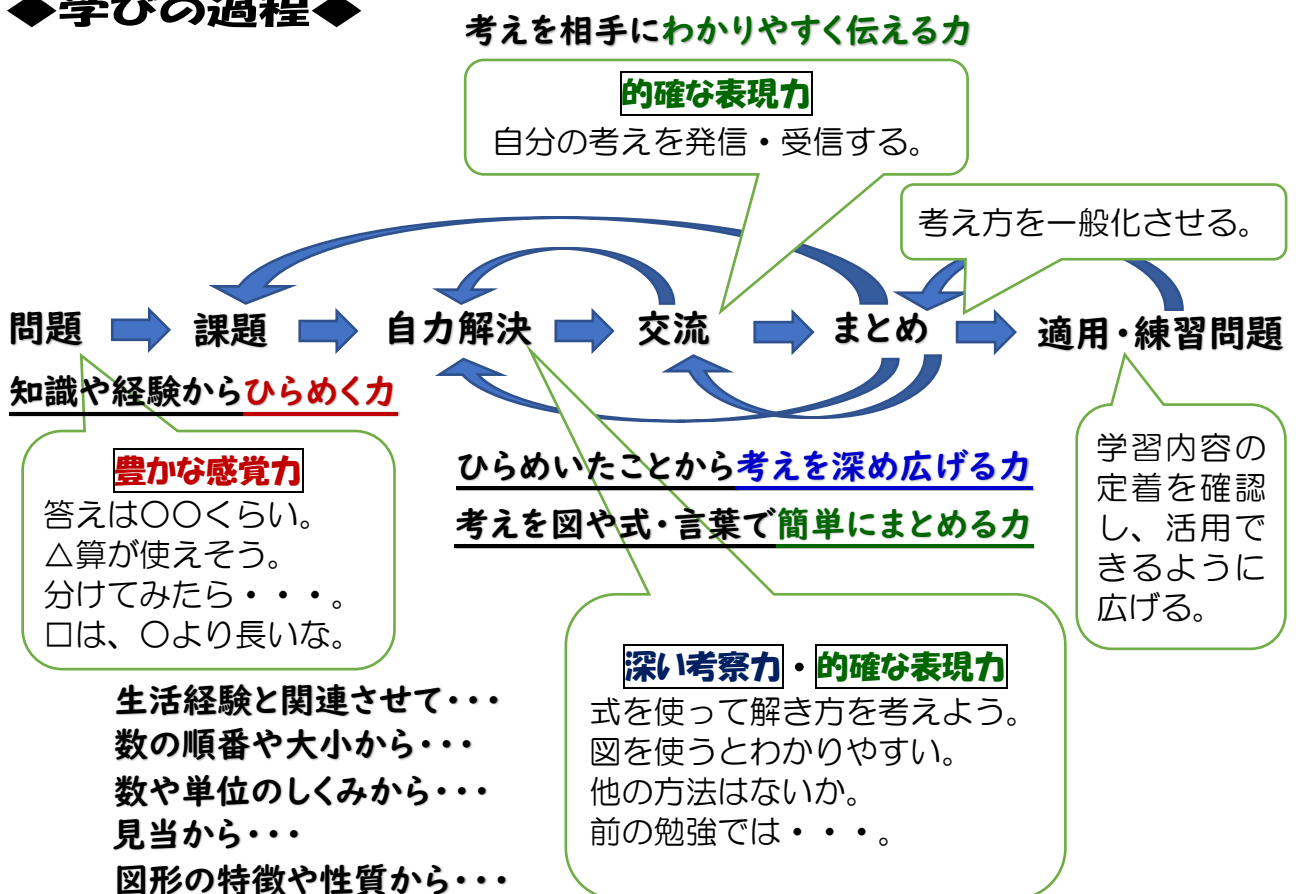
学びに向かう力

学び合い

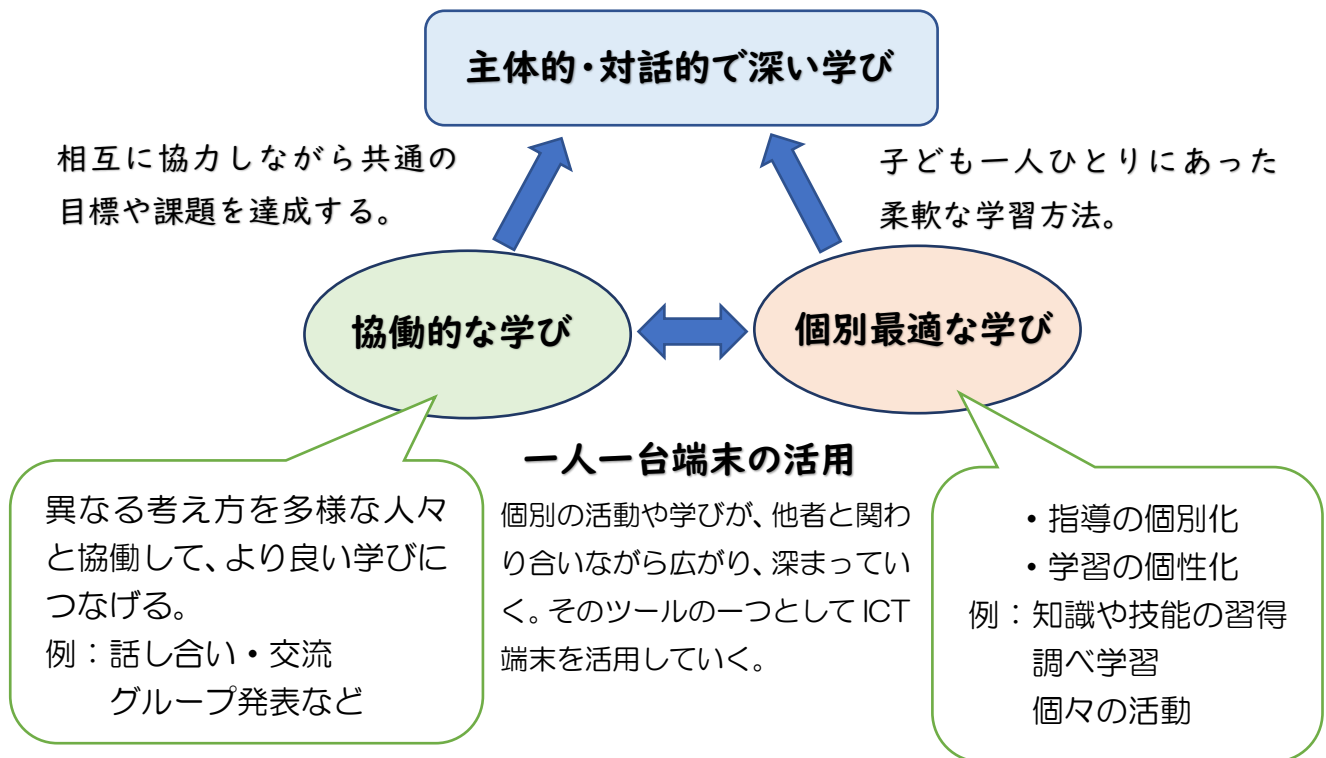
4 めざす授業像

数量や図形についての感覚を豊かにするとともに、深く考え、的確に表現し交流する中で考えを広げ、学習内容の定着を図り、新たな気づきに出会える授業

◆ 学びの過程 ◆



◆深い学びの学習スタイル◆



5 研究の仮説

- ① 数量や図形についての感覚を豊かにすることで、問題の解き方や答えへの見通しをもち、主体的に課題に取り組むことができるであろう。
- ② 図や式などを使って自分の考えをわかりやすく的確に表現し交流することで、学習内容の定着を図り、多面的な考え方が広がるであろう。

6 研究内容

- ① 数量や図形についての感覚を豊かにするための導入・問題提示の工夫
- ② 課題に対し見通しをもち、筋道を立てて考えるための場面設定と工夫
- ③ 交流場面で自分の考えを発信するための表現方法や手立てを増やす工夫